

セルロース学会関西支部 第17回若手セミナー2021 on Zoom
「多糖の医療応用と顕微鏡観察」

セルロース学会関西支部では毎年、春にマイクロシンポジウムを、秋には合宿形式の若手セミナーを企画してきました。本年はこれらを合同開催としたオンラインセミナーを開催いたします。第1部では、健康・医療への関心が高まる今、多糖の可能性について新進気鋭の3名の先生方にお話しいただきます。第2部では初の試みとして、「材料向けクライオ TEM 実演動画+ミニ講義」を準備いたしました。セミナー終盤には、恒例の若手によるグループディスカッション形式で夢の顕微鏡提案会を行います。是非ご参加ください！尚、第1部のみ、第2部のみのご参加も可能です。詳しくは申込方法をご覧ください。

記

日時	2021年12月17日(金)
参加費	無料(一般、学生)
申込〆切	2021年11月30日(火)
定員	<ul style="list-style-type: none">講演会 上限100名グループディスカッション参加人数 上限40名 *定員に達した場合は期日前に受付終了する場合があります
プログラム	9:30 Zoom入室開始(待機室・講演者の接続確認) 10:00 開始挨拶と説明 10:10 第1部 「多糖の医療応用」講演会 ①弓場英司先生(大阪府立大学) 「多糖の生理活性を利用した免疫誘導システムの設計」 ②田中知成先生(京都工芸繊維大学) 「保護基を使わない糖鎖高分子の水中合成」 ③井澤浩則先生(鳥取大学) 「素人によるリンクルの研究:発見に導かれる研究展開」 12:00 昼食 13:00 第2部 今井友也先生(京都大学) 「材料向けクライオ TEM 実演動画+ミニ講義」 14:00 第2部 若手によるグループディスカッション・休憩(時間調整込) 15:30 第2部 各グループの発表会 17:00 終了予定 オンライン懇親会(企業の方と学生の自由交流コーナー)
グループディスカッションで取り組むお題目	「夢の顕微鏡提案会 ~セルロース・多糖のこれが知りたい・見てみたい~」 事前調査を推奨します。発表形式は自由(パワーポイント等により資料を用いた発表も可)。
グループディスカッションの方法と発表会	ホスト側で、参加者を数名ずつの小グループに振り分けます。Zoomのブレイクアウトルーム機能によりそれぞれの会議室に入室した後、議論を開始します。画面共有等を有効に使いながら、各グループでプレゼン内容を集約し、資料を完成させます。その間、講演会場(メインルーム)は待機室となります。

	<p>発表会では、ホスト側で再度全員をメインルームに入室させ、各グループの代表者からディスカッションの結果を発表いただきます。発表時間は1グループ5～10分、質疑5分以内とします（参加人数により変動する可能性があります）。</p> <p>全グループの発表が終了後、審査員による採点とランキング発表ならびに講評を行います。発表の点数ランキングに応じて豪華な景品を授与する予定です！</p>
グループディスカッション発表会の評価項目	<p>①調査・分析力 ②仮説提起力（発想力） ③論理性 ④プレゼン力 ⑤面白さ</p> <p>各5点、25点満点により採点。</p>
申込・問合せ先	<p>セルロース学会関西支部 岡久陽子（京都工芸繊維大学） E-mail : csjkansai_event@googlegroups.com</p>
申込方法	<p>①氏名（ふりがな） ②申込種別（一般または学生）、学年（学生の場合） ③ご所属 ④ご連絡先（E-mail） ⑤第2部グループディスカッションへの参加希望（希望する・希望しない） ⑥第2部グループディスカッション発表会の聴講希望（希望する・希望しない）</p> <p>を記載の上、上記宛の電子メールにてお申込みください。 件名は「2021 若手セミナー申込」としてください。 グループディスカッションに参加されない場合も、発表会の聴講は可能です。</p> <p><注意> グループディスカッションでは、ホスト側でZoomのブレイクアウトルーム機能を使用し、ZoomにサインインしたE-mailによって参加者を各班に事前割当します。そのため、<u>必ず申込時のE-mailアドレスを用いてZoomにサインインし、参加してください。</u></p> <p><注意> グループ・ディスカッションに参加される方は、イヤホンまたはヘッドセットの使用を推奨します。</p>